



Add: 渋谷区広尾1-16-2
K&S恵比寿ビル II 4F
Tel: 03-5422-7474
Link: P000 X-0

一般歯科からインプラント、ホワイトニング、審美歯科まで幅広い分野を網羅。治療にかかる期間や費用、デメリットなど、丁寧な説明で不安を取り除いてくれる診察姿勢に定評があり、確かな技術と行き届いた対応で人気を集める。

読者レポーター



伊藤 牧さん
30代/会社員/渋谷区勤務

見た目も美しく、機能も回復する
インプラント治療の現状に
興味がありました

話題になることの多い、インプラント治療。歯の欠損を補う治療法として優れているとは聞いていますが、安全性や費用の問題、治療内容などよく知らないで、治療に踏み切れずにいました。今回、先生にインプラントのメリットや治療計画などをしっかり教えていただこうと思います。

機能面を回復させ、見た目の美しさも復元。歯の欠損をカバーする、高度な医療技術

インプラント治療

歯を喪失した場合、機能面や見た目など多くの面で優れているインプラント治療。でも、場合によっては手術が大がかりになることもあり、不安な面も。今回は治療の詳細や、インプラント治療に適したクリニックの見分け方をレポートします。

素朴な疑問

Q&A

答えてくれたのは

さとうデンタルクリニック
佐藤 悠野 院長

神奈川県立歯科大学卒業。国際口腔インプラント学会、日本先進医療医師会、日本歯科審美学会、POIC研究会所属。学生の頃から能力向上に努め、開業前も厳しい指導を受けられるクリニックに勤務。確かな技術力とこまやかな対応で、歯科医院の激戦区にありながら患者の心をつかみ、患者一人ひとりの立ち場に立った治療をめざす。



Q インプラント治療はどんなところが他の治療と違うのですか？

A 歯を失った際、それを補う選択肢として挙げられるのは、主に入れ歯・ブリッジ・インプラントの3つ。入れ歯は低価格ですが、外れやすかったり食事がしづらかつたりします。患部の両側の歯を削り、橋のようにして人工の歯を埋めるブリッジは、両側の歯にダメージを与え、清掃性も良くありません。一方、インプラントは他の方法に比べて高額ではありますが、他の歯を削る必要がない点や、治療効果が長持ちする点が特長。機能的にも審美的にもメリットがあるといえます。

Q インプラント治療は誰でも受けられますか？

A 近年、インプラント治療に関する技術は著しく進歩しています。少し前なら、技術的に治療困難とされていた症例が、最近では治療可能になるケースも増えてきました。例えば、これまで骨の量が少ないため治療できないと診断されていた方が、骨再生療法や骨の移植手術などにより治療できる場合もあります。ただ、重度の全身疾患を抱えている方の場合、服用している薬によってはインプラント治療ができないことも。いずれにしても、自己判断せずクリニックで相談するのがよいでしょう。

Q 治療を受けるのに良いクリニックの見分け方はありますか？

A まずは、インフォームドコンセントを確実にしていること、そして具体的な治療計画や期間、費用を事前にきちんと提示しているクリニックを選ぶことが基本です。加えて、どんな種類のインプラント体(人工歯根)を使用しているか、上部構造(人工歯)を取り付けるための土台は既製品かオーダーメイドか、補償期間はどのくらいあるのか、メンテナンスはしっかりしているか、骨再生療法に対応しているかといった点も、クリニックを見極めるポイントとなるでしょう。

レポートを終えて……

○ドクターからのメッセージ



何らかの理由で自分の歯で噛むことができなくなってしまった方にとって、インプラント治療は、お口の中の健康を取り戻すのに非常に有効な手段の一つ。とはいえ、治療にかかる費用や期間など、患者さんのご負担となる部分も少なくありません。ですから、まずは信頼して任せられるクリニックを見つけることが大事。先端の治療技術を持ち、きちんと説明があつて、しっかりと診察を行っているかどうかを判断材料に、ご自分に合ったクリニックを見つけてください。

○読者レポーターのコメント



はじめはインプラント治療に対して不安が大きかったのですが、カウンセリングでわかりやすく説明していただけるそうなので、安心ですね。やはり、カウンセリングが充実しているクリニックを選ぶことが、とても大切。CT撮影も精度の高い治療には欠かせません。心配だった費用面でも、デンタルローンを利用できるクリニックがあることがわかり、また、治療後には保証期間を定めているところも多く、フォロー体制の充実さでクリニックを選ぶことも必要だと感じました。

4 完全無菌のオペ室でインプラントの手術を行う



予定部位の粘膜に局所麻酔を行い、歯肉を切開し、ドリルで穴を形成してインプラントを埋め込んでいく。手術部位を縫合し、約10日後に抜糸。インプラントが骨に結合したら、補綴物の型取りを行い、人工の歯を装着する。

5 術後のフォローで治療効果を長く持続



どんなに自宅でケアしていても、歯の磨き方には癖もあるので、どうしても細かい磨き残しが出てきてしまうもの。インプラント手術を終えた後も、治療効果を長く持続させるため、定期的にクリニックへ通院してメンテナンスを行うことが大事だ。

1 口腔内の診察とカウンセリングで現在の悩みやトラブルを相談



まずは、口腔内の状態をチェックした後、インプラント、ブリッジ、入れ歯などの各治療法について、それぞれのメリットとデメリットをわかりやすく説明。治療期間や費用などを交えながら、具体的に相談できる。

3 CT画像を見ながら治療計画を綿密に立てる



CTの画像を見ながら、治療計画を立てていく。顎の骨が不足しているなど、インプラント治療が困難なケースもあるが、そうした場合もできる限りコンピュータ上でシミュレーションしながら、手術の可能性を高めていく。

2 CTで3次元的に顎骨の構造を把握安全・確実な治療をめざす



CTを撮影して、上顎・下顎の骨の3次元的構造や、神経の位置などを把握。インプラントを埋め込む予定の周辺組織の状況を明確にすることで、より確実で、精度の高いインプラント治療につなげる。

実際の流れを紹介